



2012.4.5

No. 219

毎月5日発行 定価1部10円 (組合員の購読料は組合費に含む)
1996年3月4日第三種郵便物許可

MONTHLY

れんごう

北海道

<http://www.rengo-hokkaido.gr.jp>

発行

日本労働組合総連合会 北海道連合会

発行責任者

出村良平

〒060-8616 札幌市中央区北4条西12丁目 ほくろビル6F TEL (011) 210-0050 center@rengo-hokkaido.gr.jp

要求実現に向けて1,800人が参加

2012春季生活闘争・全道総決起集会開催

連合北海道は3月8日午後6時より、2012春季生活闘争・全道総決起集会を札幌市民ホールで開催し、約1,800人の組合員が参加した。集会は、東日本大震災からの復興・再生と多くの犠牲者のご冥福を祈念して、参加者全員での黙祷から始まった。

冒頭、工藤会長の挨拶では、「経団連が言及した定昇延期・凍結は論外である。デフレスパイラルから脱却するためには、賃金底上げ、格差是正や非正規労働者の処遇改善などが不可欠である」と述べ、要求を明確にし、共闘を強化しながらの積極的な参画を各構成組織に求めた。

続いて出村事務局長から闘いの提起として、「97年以降5%低下した賃金水準を復元するため定期昇給（賃金カーブ維持分）の確保と、給与総額1%を求めていくこと」を強調した。



さらに、3月12日から始まる第1次交渉ゾーン（ヤマ場）に向け、多くの産別で団体交渉を配置し、闘いに臨む体制を確認し合い、要求実現に向けて闘いの輪を広げようと呼びかけた。

この後、産別からはUIゼンセン同盟とフード連合、また地域からは留萌地協の力強い決意表明が行われた後、集会決議が山田女性委員会委員長から提起され、満場一致で採択された。

最後は林会長代行の「団結ガンバロー」の発声で集会の幕を閉じた。

▶要求・回答・妥結情報を集約中ですので、2012春季生活闘争 本部・情報センターまでお知らせ下さい。

TEL 011-210-0050 FAX 011-272-2255

〈この記事のアドレス〉 http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/spring/2012030801_spr_joho2.html



現在の日本の社会保障と財源は、どうなっているの？

現在の社会保障制度が構築されたのは1960年代。半世紀の間に社会は大きく変わり、さまざまな問題が噴出しています。



連合が考える、社会保障と税の姿とは？

連合がめざす「働くことを軸とする安心社会」を支えるトータルビジョンとして、その理念と具体的改革の方向性を示して提起しています。



連合がめざす社会保障と税の姿と、政府の「一体改革」の関係は？

政府「一体改革素案」の内容は、連合がめざす2025年の姿にいたる「一里塚」であり、2010年代半ば以降、もう一段の改革をはかる必要があります。



連合が考える 社会保障と税の 一体改革とは

希望と安心の社会づくり



〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2-11
TEL 03-5295-0520 FAX 03-5295-0546

詳しくは特設サイトをご覧ください
<http://shakaihosho.com/>

継続的な支援をこれからも

東日本大震災被災1周年パネル展を開催

未曾有の被害をもたらした東日本大震災の発生から1周年にあたる2012年3月11日、この日を忘れることなく、継続的な支援の意識化をはかる一助とするため、札幌駅前通地下広場において、1周年パネル展を開催した。日曜日にもかかわらず、働く仲間や市民の皆さんにご観覧いただき、のべ220名の方々に来場をいただいた。

パネルは、連合の仲間が被災3県に赴き、ボランティア活動をする様子や、現地の方々との交流等を写したもので、その時の記録をまとめたDVDも会場で放映した。

また、被災地支援のための物品販売のチラシを置き、購入の協力をお願いしました。さらに、義援金カンパ箱を設置したところ、温かい気持ちのこもった33,613円のカ

ンパ金寄せられた。

来場された方の中には、「札幌に仕事が無く、これから福島に働きに行くが、原発15キロ圏内で放射能が心配でどうしようか悩んでいる」、「宮城出身で、大学を卒業し札幌へ来たが、生まれた故郷に何もできないことに歯がゆさを感じている」等、様々な悩みを切実に訴えている方もいた。

連合北海道は、こうした被災に関わる訴えを受け止め、また被災者の方々が前向きに進んで行こうという気持ちを、どう支え寄り添っていくか共に考え、今後の活動に取り組んでいく。

〈この記事のアドレス〉 http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2012031101_earthquake_anniversary.html



第3回目の就活応援セミナーを開催

会場は開演前から熱気あふれる

3月21日、札幌エルプラザホールで、第3回目の就活応援セミナーを開催した。参加者は約100名と、前2回と比べて少人数ではあったが、開演前のアドバイザーコーナーから、終始、熱気あふれるセミナーとなった。

主催者として、連合北海道工藤会長より「七・五・三と呼ばれる学卒者の早期離職。しかし、最近では再雇用が不安定雇用となることが増大。不安定な雇用では将

来の展望は開けない。私たちは、働く人・働く事を基軸に安心な日本社会の実現を目指して様々な活動を展開している。皆さんの就職活動を通じての成長を願うとともに、働く人生の先輩として、『働く目線』から、辞めない会社選びのお手伝いが出来ればとの思いで企画。応援しています」旨の挨拶があった。

工藤会長挨拶の後、道内最強講師陣を迎え ○直面する「就職活動」 ○日常の「学生生活」 ○入社にあたっての「ワークルール」 ○「入社後の職場環境」と、それぞれのステージを応援するよう構成された、第3回就活応援セミナーが開会した。

カリスマ就活講師渋谷文武さんからは、「第一志望の最終面接を圧勝で通過する方法」と題し、就活の最終面接攻略方法について講演。参加者同士の演習も交えての有意義な講演となった。

札幌大谷大学新学部設置準備室長平岡祥孝さんは、「魅力ある地元企業と就業力」と題し、日頃の学生生活・学習にこそ、就活の「技術」以前の「基本」があること。さらに「支社」がある北海道の優位性を紹介された。



元札幌東労働基準監督署署長の先山明子さんから、後天的な障害を受け止め、かつ、ポジティブな求職活動の結果、現在は研究職員として働くお子様のお話を通じ、参加者にエールを送るとともに、働く前にとっても重要なワークルールについて「雇用契約書」を基に講演された。

毎回、好評を博しているパネルディスカッション「会社人事からは絶対に聞けない！業界の裏側が聞ける、働く側からの本音トーク」では、北海学園大学経営学部教授の石井耕さんをコーディネーターに、NTT労組docomo総分会より晒谷宗由さん、全労済労組より北あす美さん、トップツアー労組より金井邦仁さん、北海道労働金庫労組より福地かおりさんがパネラーとして登壇。賃金や就業時間、昇格などとともに、働く中での喜びや挫折を披露。入社後の職場環境について、本音トークでのディスカッションが行われた。

開演前には、参加者のアンケート要望に応じて開設された、組合役員による業界アドバイザーコーナーが今回も開設され、サービス流通連合、サービス連合、電力総連、自動車総連、運輸労連、JP労組、自治労、全国ガス

の組合役員がアドバイザーとなり、就活生の真剣な質問に、業界の生情報を含め親身になって答えた。

「就職内定はゴールではなくスタート！」として、全国に先駆けて開催された連合主催の就活応援セミナーは今回で最終となる。テレビや新聞などメディアにも大きく取り上げられ、また各種学校や行政関係などの就職を担当する方々も参加いただくなど、様々に注目いただいた中での開催となった。

来期の就活応援セミナーのあり方等については、参加者の皆さんからいただいたアンケートや関係各位のご助言もいただき、執行委員会等で協議していく。



〈この記事のアドレス〉 http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2012032101_syukatsu3.html

道内の各産別・地協より約180名が参加

3. 8国際女性デー全国統一行動北海道集会

3.8国際女性デーは、1857年にニューヨークで起きた工場火災で、多くの女性たちが亡くなったことを受け、3月8日に低賃金・長時間労働に抗議、婦人参政権を求める集会が開かれたことが起源となっている。

連合は1996年から春季生活闘争の中に国際女性デーの行動を位置づけて、全国の仲間たちとともにこの行動に取り組んでおり、今年3月4日、北海道自治労会館にて「3.8国際女性デー全国統一北海道集会」を開催し、道内の各産別・地協より約180名が集まった。

冒頭で山田女性委員会委員長は、「男女平等を実現するために一人ひとりが声を上げ行動するとともに、運動方針に明記されている目標について実績が伴うよう具体的な計画をたて遂行して欲しい」と述べた。

その後、同志社大学政策学部教授川口章さんから『男女間経済格差の解消に向けて』をテーマに講演があった。川口さんは、具体的な数値・グラフから、さまざまな

場面での男女経済格差を示し、女性差別が残る雇用制度・企業慣行と家庭における性別役割分業の問題点を解説した。また、バブル崩壊・リーマンショック以降、企業に献身的に働く男性を専業主婦が支えて専業主婦の保険料や年金を男性の収入でまかなうという、企業・男性・女性の三者相互依存の日本型福祉社会が崩壊し、男性の失業・離婚の増加や非正規カップルの増加などによる貧困の再生産が行われている現状であるからこそ、女性がはたらき続けられる環境の整備が必要とされていることも指摘した。さらに具体的なポジティブ・アクションの進め方や、女性差別的雇用制度と性別役割分業との悪循環を断つために労働組合が行うべきことは(1) 両立支援制度を作るだけでなく、制度を利用しやすく取り組みを行うこと、(2) 企業に男女均等化政策の実施を求めることであることが提案された。



講演後の職場交流では、北教組女性部から子どもたちの教育から男女平等を意識して取り組んでいることや超勤多忙の厳しい現場実態について、連合北海道青年委員会からは「2012スプリングフォーラム」の報告および青年委員会の取り組みに女性も積極的に参加されるよう呼びかけがなされた。また、自治労道本部女性部からは学



習会を行って女性が集まって語り合うことから職場の問題点を洗い出し、課題を共有化していることなどが報告された。

集会の最後に「2012春季生活闘争」の取り組み推進、

「一人ひとりが行動を起こそう」というアピールが採択され、集会は終了した。

〈この記事のアドレス〉 http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2012030401_3_8women.html

「社会保障と税の一体改革」学習会

渡島地協・松山地協・民主党合同開催

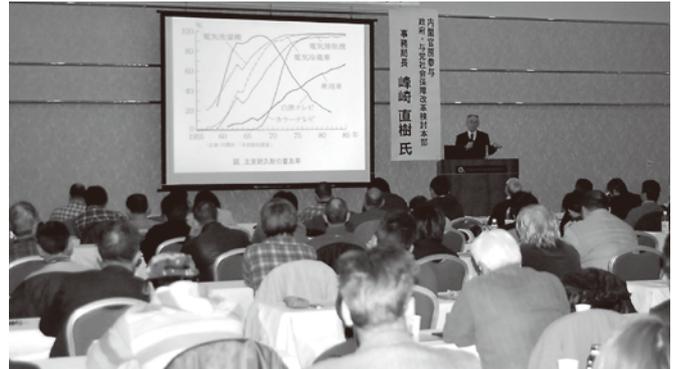
「社会保障と税の一体改革とは？」と題した学習会が、3月24日(土)午前10時より函館市「ロワジュールホテル」において、政府・与党社会保障改革本部事務局長 峰崎直樹氏(内閣官房参与、前・参議院議員)を講師に招いて開催された。

連合北海道渡島地協・連合北海道松山地協・民主党の合同開催となった当日は、前日の天候と打って変わって最悪の吹雪模様となったが、正に時の課題だけに会場には多くの組合員・退職者・議員並びに議員後援会会員等々、予定した100席を大きく超える150名が参加し、会場は熱気に包まれていた。

民主党・道畑幹事長の司会でスタートした学習会は、主催団体を代表して連合北海道渡島地協・荒木会長が挨拶。「厳しい社会環境と条件下での取り組みであるが、時代を逆行させないためにも一人ひとりがしっかりと学び合うことが重要」と参加者に強く訴えた。

2年ぶりの来函となった峰崎氏は、今日までの社会の推移を振り返りながら、日本経済の現状を分析し、今後の予測を行うとともに、今日のデフレ経済の要因と対策の重要性を提起。更には、社会保障の現状と課題及び日本の財政状況について理解しやすい言葉で1時間半に渡って考え方の理解を求めた。

参加者からは「財務省の代弁のようにも聞こえる!」「増税を提案する前にもっとやるべきことがあるのでは?」「前回の消費税引き上げ時から自殺者が増大している傾向にあるのでは?」「益々増大する赤字国債の要



因を分析すべきでは?」など消費税の引き上げを中心とした数多くの意見・要望や党内における政策調整に対する苦言等が出されたが、批判的な質問も見受けられたものの、大半は現状の民主党政権に対する叱咤激励にも似た意見・質問であった。

一問一答形式で、峰崎氏から質問者に対する説明・答弁が行われたが、連日マスコミをにぎわしている政局課題であるだけに、今後の推移をしっかりと注視し、其々の立場で積極的に論議参加していことの重要性を訴えて、2時間以上に及んだ学習会を終えた。

最後に閉会挨拶を行った連合北海道松山地協・佐藤会長からも、連合が求める「働くことを軸とする安心社会の実現」に向けて、一人ひとりが学習を積み重ねて、職場や地域で自信を持って積極的に活動を行うことを訴え、閉会となった。

〈この記事のアドレス〉 http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2012032401_minezaki_study.html



4月の主な動き

- 2012春季生活闘争中央共闘推進集会
3日(火) 15:00/総評会館
- 第2回全道メーデー実行委員会
6日(金) 13:30/自治労会館
- 第3回中小パート労働条件委員会
6日(金) 15:00/自治労会館
- 第5回エネルギー・環境政策小委員会
10日(火) 13:30/連合北海道会議室
- 教育対策委員会第2回運営委員会
12日(木) 13:30/連合北海道会議室
- 金属機械部門連絡会
16日(月) 16:00/連合北海道会議室
- 第7回中央執行委員会
19日(木) 13:30/総評会館

イベントカレンダー

- 2012網走地協青年女性委員会スプリングフォーラム
21日(土) 13:00/サントライ北見
- 2012春季生活闘争石狩地協地場解決促進集会
23日(月) 18:30/エルプラザ
- 常駐者会議
24日(火) 10:00/連合北海道会議室
- 第4回エネルギー・環境政策委員会
24日(火) 14:30/ポールスター
- 第7回執行委員会
25日(水) 10:30/連合北海道会議室
- 第5回地協事務局長会議
25日(水) 13:30/連合北海道会議室
- 第2回政策委員会
26日(木) 10:00/さっぽろ芸文館